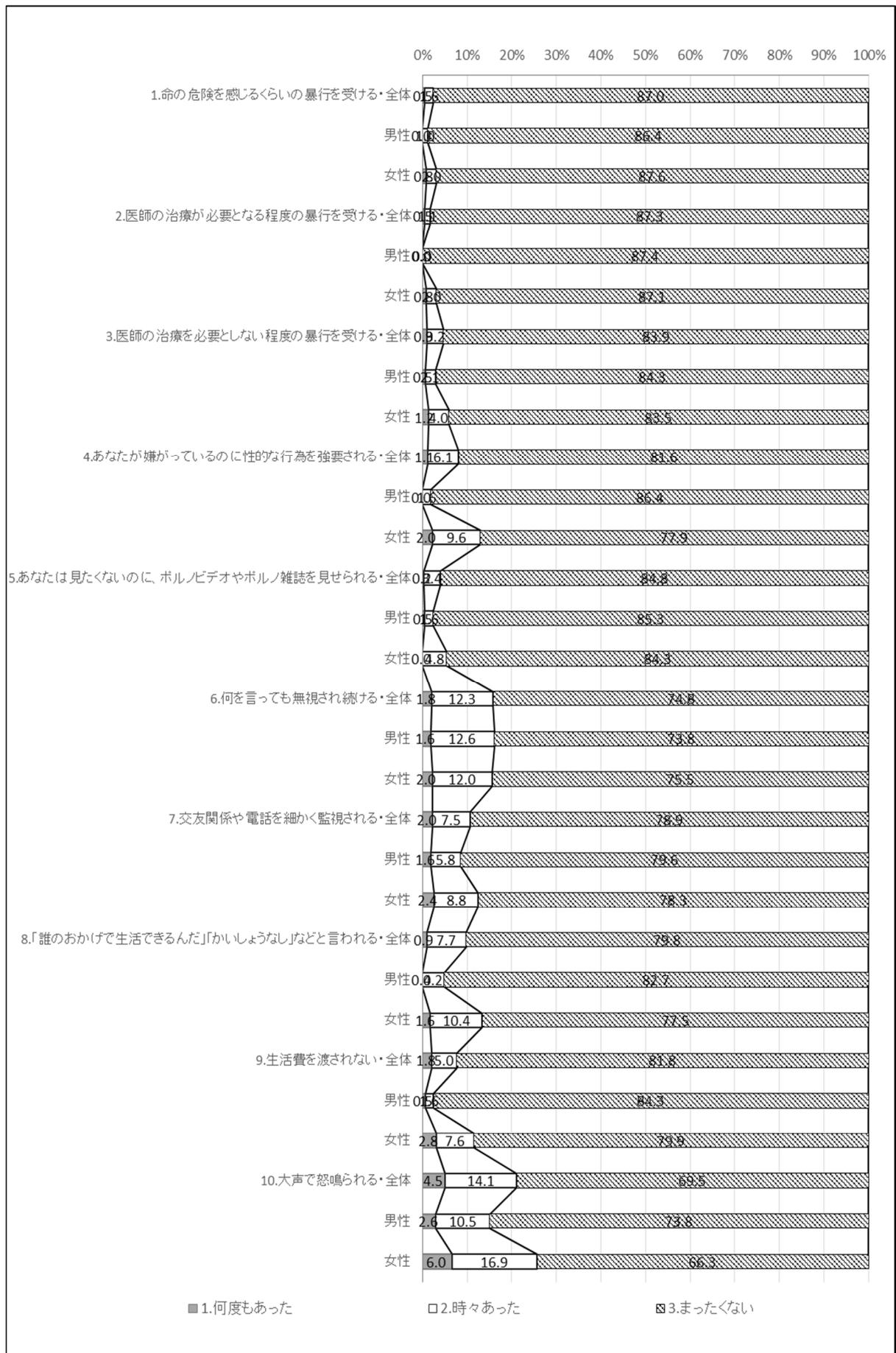


Q26.配偶者、パートナー、恋人からされたことのある行為

項目文		度数	1.何度もあつ	2.時々あつ	3.まったくな	無回答	検定結果
			た	た	い		
1.命の危険を感じるくらい の暴行を受ける	全体	440	0.5	1.6	87.0	10.9	
	男性	191	0.0	1.0	86.4	12.6	
	女性	249	0.8	2.0	87.6	9.6	
2.医師の治療が必要となる程度 の暴行を受ける	全体	440	0.5	1.1	87.3	11.1	$z=-2.302,$
	男性	191	0.0	0.0	87.4	12.6	$p<.05^*$
	女性	249	0.8	2.0	87.1	10.0	
3.医師の治療を必要としない程度 の暴行を受ける	全体	440	0.9	3.2	83.9	12.1	
	男性	191	0.5	2.1	84.3	13.1	
	女性	249	1.2	4.0	83.5	11.2	
4.あなたが嫌がっているのに性的 な行為を強要される	全体	440	1.1	6.1	81.6	11.1	$z=-4.103,$
	男性	191	0.0	1.6	86.4	12.0	$p<.01^{**}$
	女性	249	2.0	9.6	77.9	10.4	
5.あなたは見たくないのに、ポルノ ビデオやポルノ雑誌を見せられる	全体	440	0.2	3.4	84.8	11.6	
	男性	191	0.5	1.6	85.3	12.6	
	女性	249	0.0	4.8	84.3	10.8	
6.何を言っても無視され続ける	全体	440	1.8	12.3	74.8	11.1	
	男性	191	1.6	12.6	73.8	12.0	
	女性	249	2.0	12.0	75.5	10.4	
7.交友関係や電話を細かく監視さ れる	全体	440	2.0	7.5	78.9	11.1	
	男性	191	1.6	5.8	79.6	12.0	
	女性	249	2.4	8.8	78.3	10.4	
8.「誰のおかげで生活できるんだ」 「かいしよなし」などと言われる	全体	440	0.9	7.7	79.8	11.6	$z=-2.860,$
	男性	191	0.0	4.2	82.7	13.1	$p<.01^{**}$
	女性	249	1.6	10.4	77.5	10.4	
9.生活費を渡されない	全体	440	1.8	5.0	81.8	11.4	$z=-3.339,$
	男性	191	0.5	1.6	84.3	13.6	$p<.01^{**}$
	女性	249	2.8	7.6	79.9	9.6	
10.大声で怒鳴られる	全体	440	4.5	14.1	69.5	11.8	$z=-2.576,$
	男性	191	2.6	10.5	73.8	13.1	$p<.01^{**}$
	女性	249	6.0	16.9	66.3	10.8	



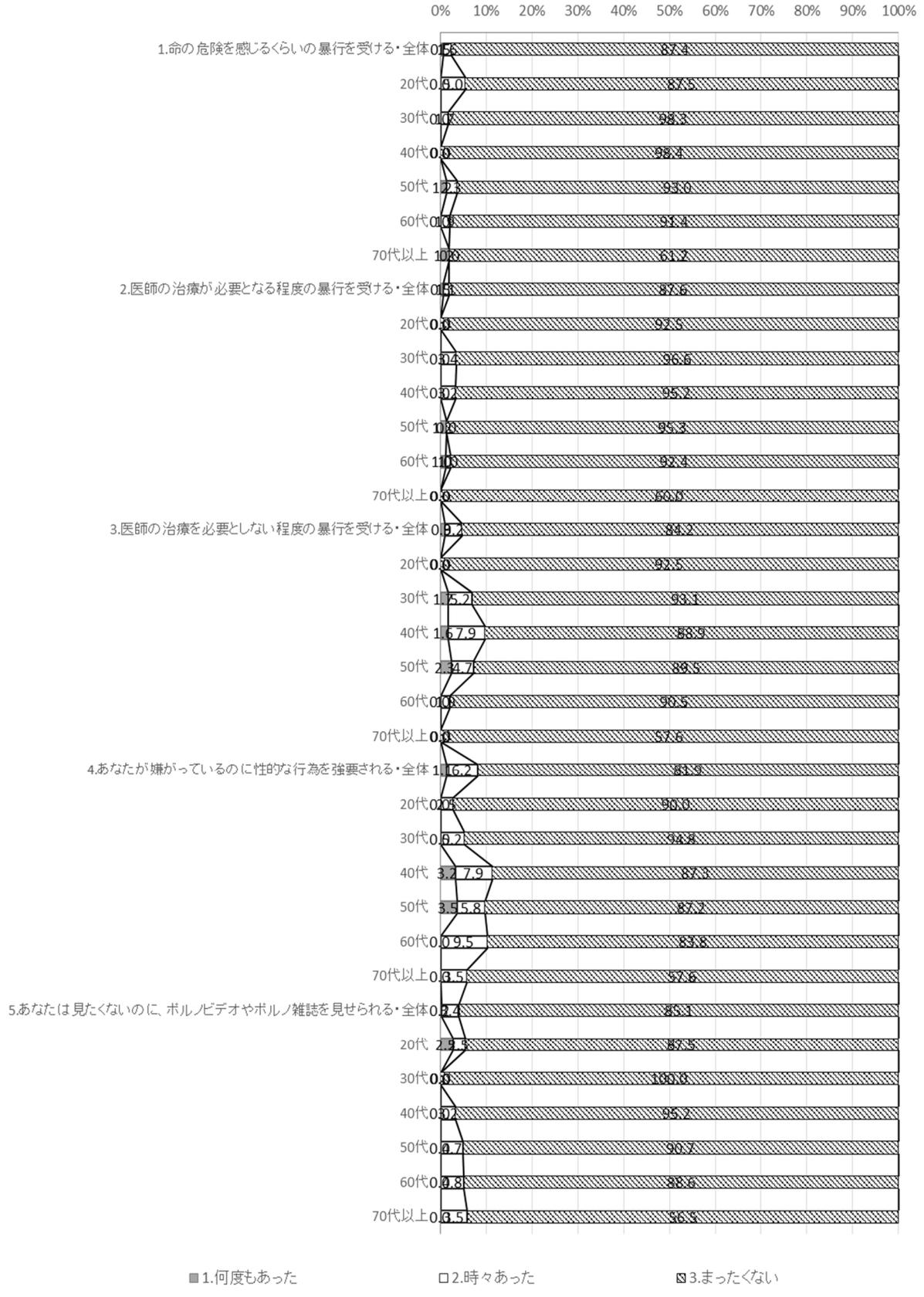
Q26.配偶者、パートナー、恋人からされたことのある行為

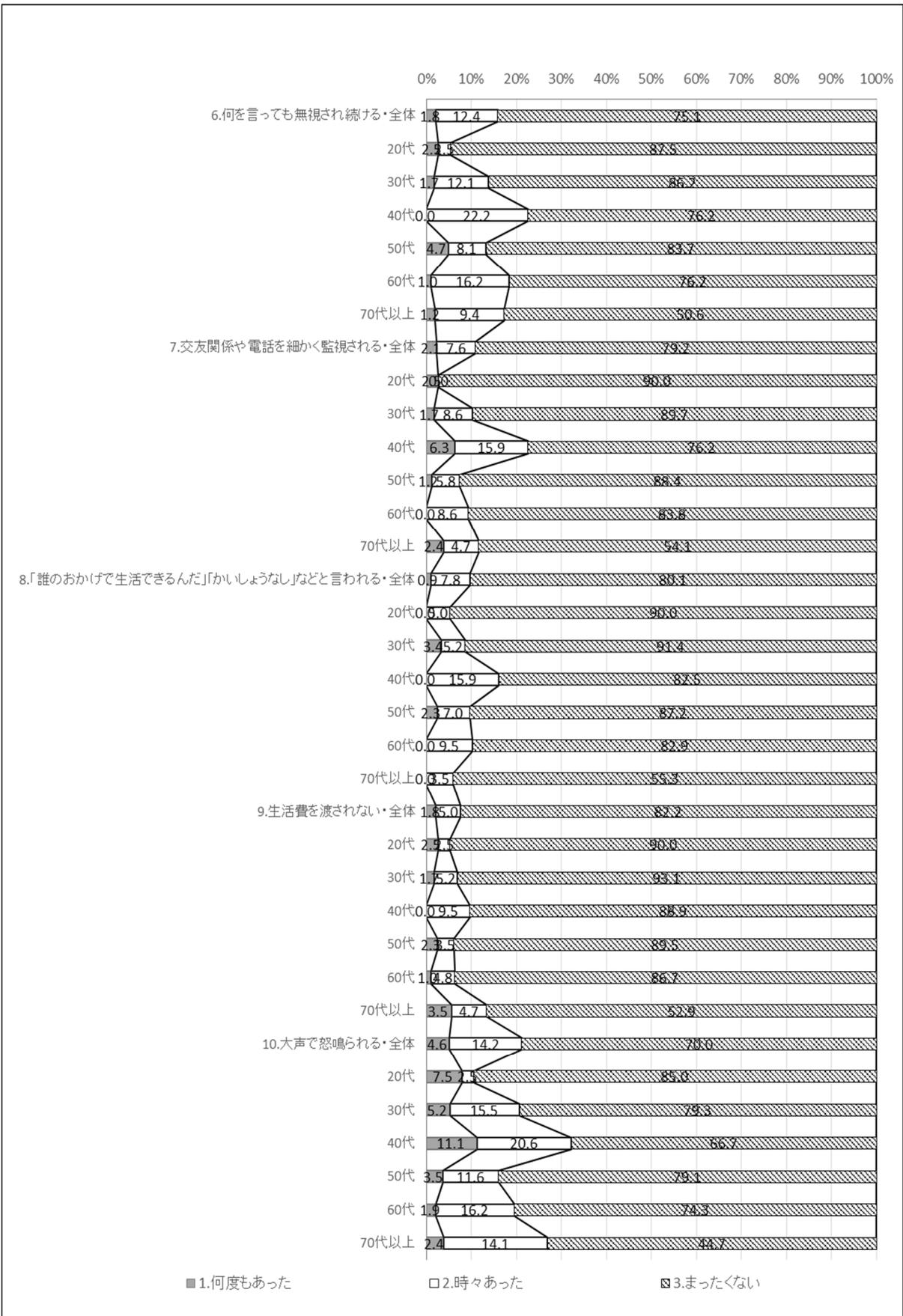
項目文	度数	1.何度もあつ	2.時々あつ	3.まったくな	無回答	検定結果
		た	た	い		
1.命の危険を感じるくらいの暴行を受ける	全体	437	0.5	1.6	87.4	10.5
	20代	40	0.0	5.0	87.5	7.5
	30代	58	0.0	1.7	98.3	0.0
	40代	63	0.0	0.0	98.4	1.6
	50代	86	1.2	2.3	93.0	3.5
	60代	105	0.0	1.9	91.4	6.7
	70代以上	85	1.2	0.0	61.2	37.7
2.医師の治療が必要となる程度の暴行を受ける	全体	437	0.5	1.1	87.6	10.8
	20代	40	0.0	0.0	92.5	7.5
	30代	58	0.0	3.4	96.6	0.0
	40代	63	0.0	3.2	95.2	1.6
	50代	86	1.2	0.0	95.3	3.5
	60代	105	1.0	1.0	92.4	5.7
	70代以上	85	0.0	0.0	60.0	40.0
3.医師の治療を必要としない程度の暴行を受ける	全体	437	0.9	3.2	84.2	11.7
	20代	40	0.0	0.0	92.5	7.5
	30代	58	1.7	5.2	93.1	0.0
	40代	63	1.6	7.9	88.9	1.6
	50代	86	2.3	4.7	89.5	3.5
	60代	105	0.0	1.9	90.5	7.6
	70代以上	85	0.0	0.0	57.6	42.4
4.あなたが嫌がっているのに性的な行為を強要される	全体	437	1.1	6.2	81.9	10.8
	20代	40	0.0	2.5	90.0	7.5
	30代	58	0.0	5.2	94.8	0.0
	40代	63	3.2	7.9	87.3	1.6
	50代	86	3.5	5.8	87.2	3.5
	60代	105	0.0	9.5	83.8	6.7
	70代以上	85	0.0	3.5	57.6	38.8
5.あなたは見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられる	全体	437	0.2	3.4	85.1	11.2
	20代	40	2.5	2.5	87.5	7.5
	30代	58	0.0	0.0	100.0	0.0
	40代	63	0.0	3.2	95.2	1.6
	50代	86	0.0	4.7	90.7	4.7
	60代	105	0.0	4.8	88.6	6.7
	70代以上	85	0.0	3.5	56.5	40.0

$\chi^2(5)=$
11.067,
 $p<.01^{**}$

Q26.配偶者、パートナー、恋人からされたことのある行為(続き)

項目文	度数	1.何度もあつ	2.時々あつ	3.まったくな	無回答	検定結果
		た	た	い		
6.何を言っても無視され続ける	全体	437	1.8	12.4	75.1	10.8
	20代	40	2.5	2.5	87.5	7.5
	30代	58	1.7	12.1	86.2	0.0
	40代	63	0.0	22.2	76.2	1.6
	50代	86	4.7	8.1	83.7	3.5
	60代	105	1.0	16.2	76.2	6.7
	70代以上	85	1.2	9.4	50.6	38.8
7.交友関係や電話を細かく監視される	全体	437	2.1	7.6	79.2	11.2
	20代	40	2.5	0.0	90.0	7.5
	30代	58	1.7	8.6	89.7	0.0
	40代	63	6.3	15.9	76.2	1.6
	50代	86	1.2	5.8	88.4	4.7
	60代	105	0.0	8.6	83.8	7.6
	70代以上	85	2.4	4.7	54.1	38.8
8.「誰のおかげで生活できるんだ」 かいしよなしなどと言われる	全体	437	0.9	7.8	80.1	11.2
	20代	40	0.0	5.0	90.0	5.0
	30代	58	3.4	5.2	91.4	0.0
	40代	63	0.0	15.9	82.5	1.6
	50代	86	2.3	7.0	87.2	3.5
	60代	105	0.0	9.5	82.9	7.6
	70代以上	85	0.0	3.5	55.3	41.2
9.生活費を渡されない	全体	437	1.8	5.0	82.2	11.0
	20代	40	2.5	2.5	90.0	5.0
	30代	58	1.7	5.2	93.1	0.0
	40代	63	0.0	9.5	88.9	1.6
	50代	86	2.3	3.5	89.5	4.7
	60代	105	1.0	4.8	86.7	7.6
	70代以上	85	3.5	4.7	52.9	38.8
10.大声で怒鳴られる	全体	437	4.6	14.2	70.0	11.2
	20代	40	7.5	2.5	85.0	5.0
	30代	58	5.2	15.5	79.3	0.0
	40代	63	11.1	20.6	66.7	1.6
	50代	86	3.5	11.6	79.1	5.8
	60代	105	1.9	16.2	74.3	7.6
	70代以上	85	2.4	14.1	44.7	38.8





6 配偶者等からされた行為への対処（問 27ーア）

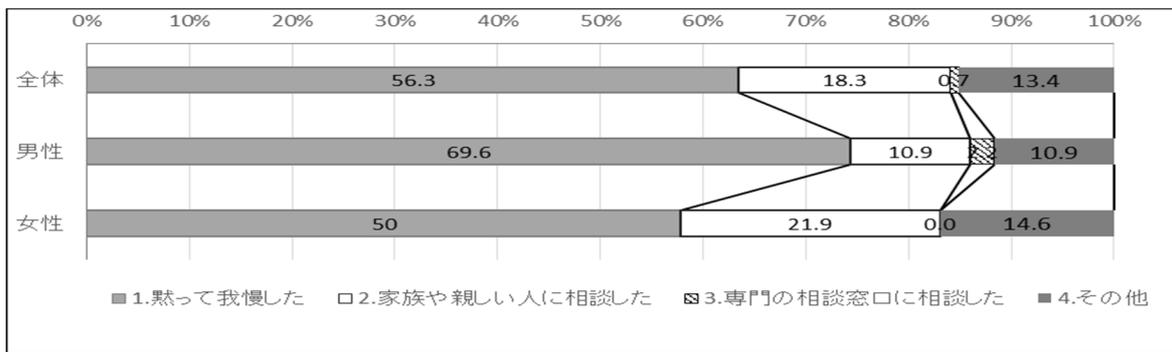
※問 26 の各小問にひとつでも「1」または「2」と回答した人のみ回答

回答者 143 名中 ただし、性別不明の 1 名は、分析から省いている。

- ◆ 問 26 で尋ねられた被害に対し、男性の 69.6%、女性の 50.0%が黙って我慢しており、身近な他者に相談した人は、男性 10.9%、女性 20.6%にすぎない。
- ◆ 年代が下がるほど、「家族や親しい人に相談した」割合が増加する傾向がみられる。

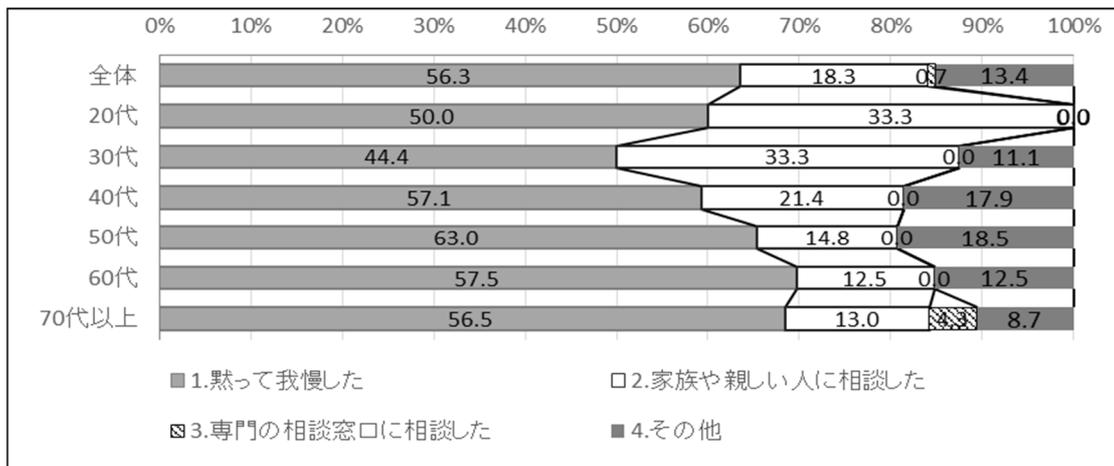
性別集計: Q27s1. 配偶者行為への対処

	度数	1.黙って我慢した	2.家族や親しい人に相談した	3.専門の相談窓口相談した	4.その他	無回答
全体	142	56.3	18.3	0.7	13.4	11.3
男性	46	69.6	10.9	2.2	10.9	6.5
女性	96	50.0	21.9	0.0	14.6	13.5



年代別集計: Q27s1. 配偶者行為への対処

	度数	1.黙って我慢した	2.家族や親しい人に相談した	3.専門の相談窓口相談した	4.その他	無回答
全体	142	56.3	18.3	0.7	13.4	11.3
20代	6	50.0	33.3	0.0	0.0	16.7
30代	18	44.4	33.3	0.0	11.1	11.1
40代	28	57.1	21.4	0.0	17.9	3.6
50代	27	63.0	14.8	0.0	18.5	3.7
60代	40	57.5	12.5	0.0	12.5	17.5
70代以上	23	56.5	13.0	4.3	8.7	17.4



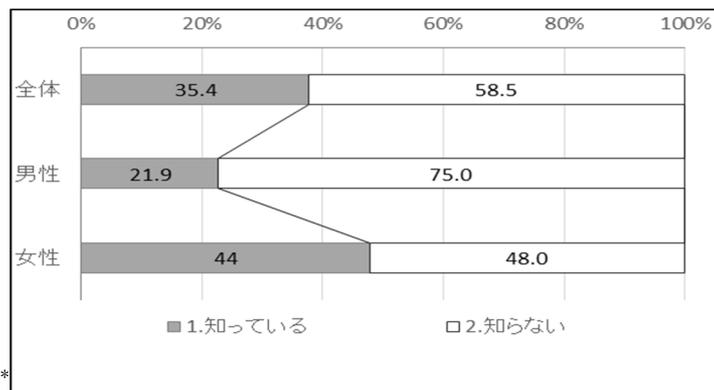
7 配偶者等からされた行為の相談窓口の認識 (問 27-イ)

※Q27-アに「1」と回答した人のみ回答 回答者 82 名中

- ◆ 問 26 で尋ねられた被害で、「黙って我慢した」回答者 82 人中、こうした被害に対する相談窓口の存在を知っている人は、全体の 37.7%である。
- ◆ 「知っている」は、男性 22.6%に対して、女性 47.8%と、男女差がある。
- ◆ 年代では、50 代で、「知っている」割合は、他の年代よりも高い。

性別集計: Q27s2. 相談窓口の認識(配偶者行為)

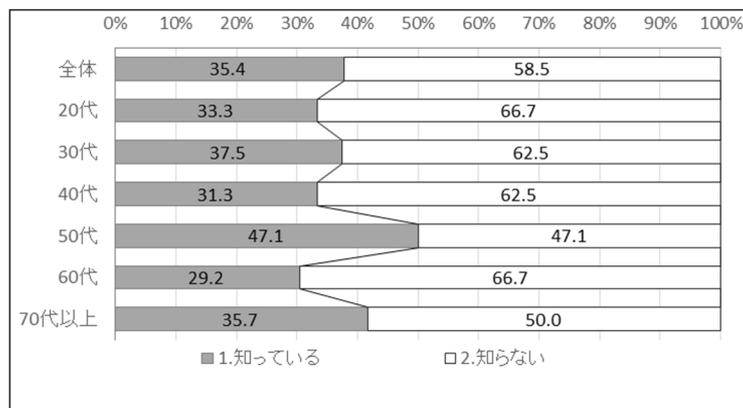
	度数	1.知っている	2.知らない	無回答
全体	82	35.4	58.5	6.1
男性	32	21.9	75.0	3.1
女性	50	44.0	48.0	8.0



$\chi^2(1)=5.027, p<.05^*$

年代別集計: Q27s2. 相談窓口の認識(配偶者行為)

	度数	1.知っている	2.知らない	無回答
全体	82	35.4	58.5	6.1
20代	3	33.3	66.7	0.0
30代	8	37.5	62.5	0.0
40代	16	31.3	62.5	6.3
50代	17	47.1	47.1	5.9
60代	24	29.2	66.7	4.2
70代以上	14	35.7	50.0	14.3

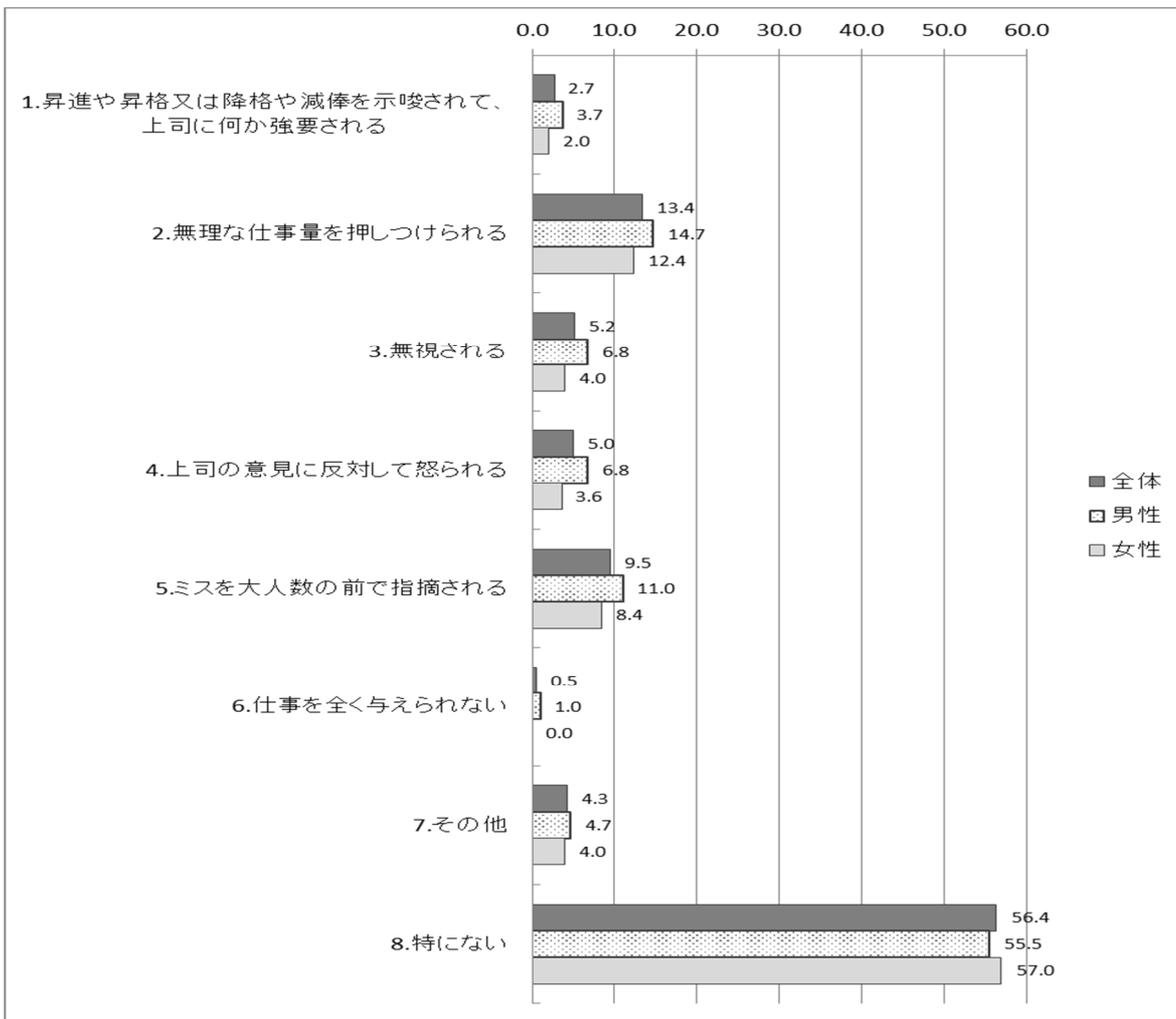


8 職場でされたことのある行為（問 28）

- ◆ 職場でされた（問題のある）ことに関して、「無理な仕事量を押つけられる」は、男性 14.7%、女性 12.4%と男女とも最も高く、次いで、「ミスを大人数の前で指摘される」は、男性 9.5%、女性 8.4%となっている。「特にない」は、半数程度にすぎない。
- ◆ 「ミスを大人数の前で指摘される」行為は、30代で 22.4%にのぼっている。

Q28. パワハラに関する各設問の性別集計

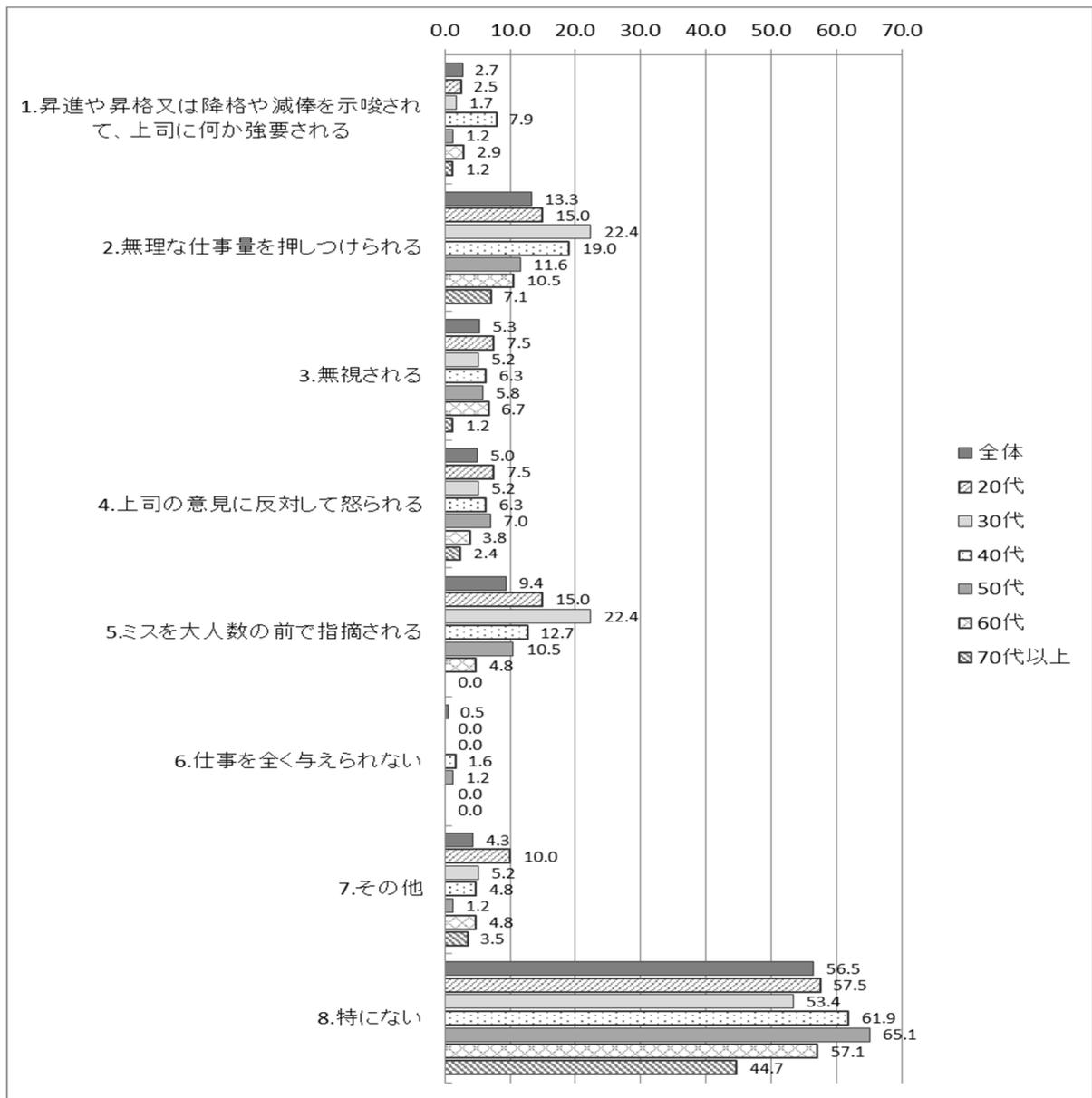
	1.昇進や昇格又は降格や減俸を示唆されて、上司に何か強要される	2.無理な仕事量を押つけられる	3.無視される	4.上司の意見に反対して怒られる	5.ミスを大人数の前で指摘される	6.仕事を全く与えられない	7.その他	8.特にない	無回答	
全体	440	2.7	13.4	5.2	5.0	9.5	0.5	4.3	56.4	18.0
男性	191	3.7	14.7	6.8	6.8	11.0	1.0	4.7	55.5	15.7
女性	249	2.0	12.4	4.0	3.6	8.4	0.0	4.0	57.0	19.7



Q28. パワハラに関する各設問の年代別集計

度数	1.昇進や昇格又は降格や減俸を示唆されて、上司に何か	2.無理な仕事量を押しつけられる	3.無視される	4.上司の意見に反対して怒られる	5.ミスを大人数の前で指摘される	6.仕事を全く与えられない	7.その他	8.特にない	無回答	
全体	437	2.7	13.3	5.3	5.0	9.4	0.5	4.3	56.5	17.9
20代	40	2.5	15.0	7.5	7.5	15.0	0.0	10.0	57.5	5.0
30代	58	1.7	22.4	5.2	5.2	22.4	0.0	5.2	53.4	6.9
40代	63	7.9	19.0	6.3	6.3	12.7	1.6	4.8	61.9	7.9
50代	86	1.2	11.6	5.8	7.0	10.5	1.2	1.2	65.1	11.6
60代	105	2.9	10.5	6.7	3.8	4.8	0.0	4.8	57.1	21.0
70代以上	85	1.2	7.1	1.2	2.4	0.0	0.0	3.5	44.7	41.2

$\chi^2(5)$
=18.435,
 $p < .01^{**}$



<その他の回答>

入社して間もなく慣れていない段階で仕事を任せられる	女性	20代
自分の責任ではないどうしようもない事に対して怒られる	女性	20代
前の会社は、サービス残業も多く、自爆営業もあった。	女性	20代
言葉の暴力	男性	30代
自分の考えを優先し、意見を聞こうとしない。	男性	30代
陰でミスしたことを言われる。上から目線で言われる。	女性	30代
毎日の説教	女性	40代
他人のミスを自分のせいにされる	男性	50代
ミスして叩かれたこともあった。暴言など	女性	50代
上司はあまり好きでなかったので無視	男性	60代
出勤時間を早くさせられた。毎日4時に起き弁当を作ったりした。	女性	60代
一室の洋式便座の中をおしっこを全体ふりかけられ掃除をさせられた。これだけは絶対に許せない。	女性	60代
ケガ 自分に対してバカとか	女性	60代
アルバイトはいらないと退職させられた	女性	60代
自営業なので全て自分の責任です	男性	70代以上
他人のミスを自分に押し付けられた	男性	70代以上

9 職場でされた行為への対処 (問 29-A)

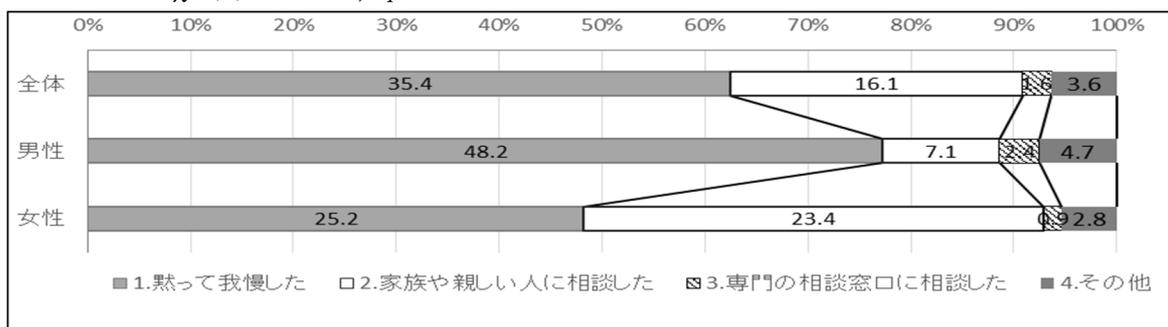
※問 28 で「8」以外の回答をした人のみ回答 回答者 194 名 ただし、性別不明 2 名は、分析から省いている。

- ◆ 職場でされたことに対する対処は、「黙って我慢した」では、男性 48.2%、女性 25.2%と、男女差が大きい。
- ◆ 年代では、70 代以上では、「黙って我慢した」が 90.0%を占める。

性別集計: Q29s1. パワハラへの対処

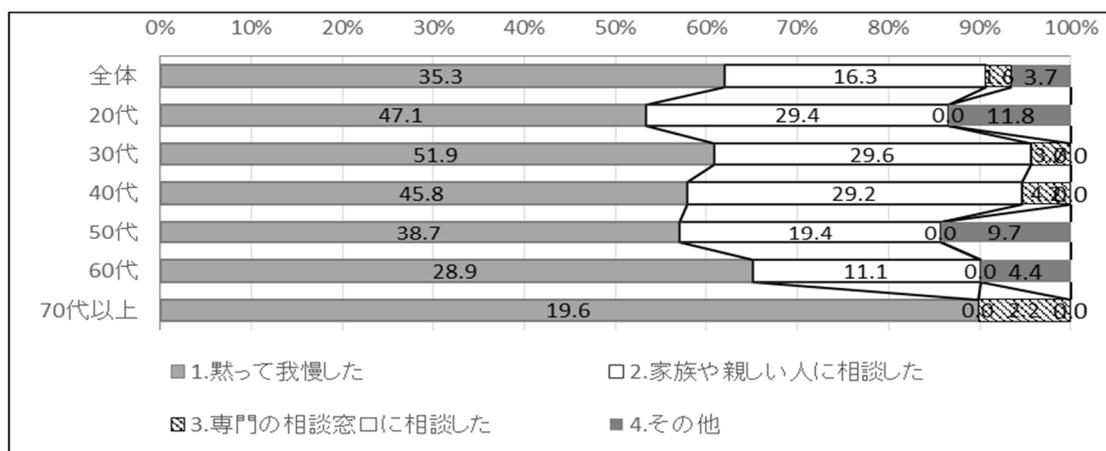
	度数	1.黙って我慢した	2.家族や親しい人に相談した	3.専門の相談窓口にご相談した	4.その他	無回答
全体	192	35.4	16.1	1.6	3.6	43.2
男性	85	48.2	7.1	2.4	4.7	37.6
女性	107	25.2	23.4	0.9	2.8	47.7

$\chi^2(2)=14.727, p<.01^{**}$



年代別集計: Q29s1. パワハラへの対処

	度数	1.黙って我慢した	2.家族や親しい人に相談した	3.専門の相談窓口相談した	4.その他	無回答
全体	190	35.3	16.3	1.6	3.7	43.2
20代	17	47.1	29.4	0.0	11.8	11.8
30代	27	51.9	29.6	3.7	0.0	14.8
40代	24	45.8	29.2	4.2	0.0	20.8
50代	31	38.7	19.4	0.0	9.7	32.3
60代	45	28.9	11.1	0.0	4.4	55.6
70代以上	46	19.6	0.0	2.2	0.0	78.3



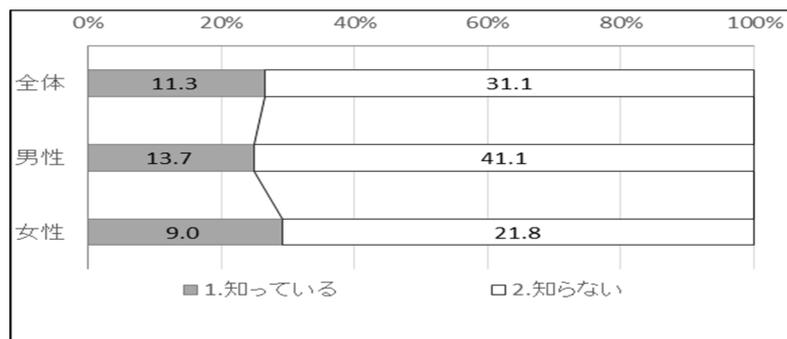
10 職場でされた行為への相談窓口の認識 (問 29-イ)

※問 29-アに「1」と回答した人のみ回答 回答者 153 名 ただし、性別不明 2 名は分析から省いている。

- ◆ 職場でされたことに対して、「黙って我慢する」と回答した 151 人のうち、相談窓口の存在を認識している人は、男性 25.0%、女性 29.2%と男女とも低い。
- ◆ 年代別でも、「知っている」比率に大差はない。

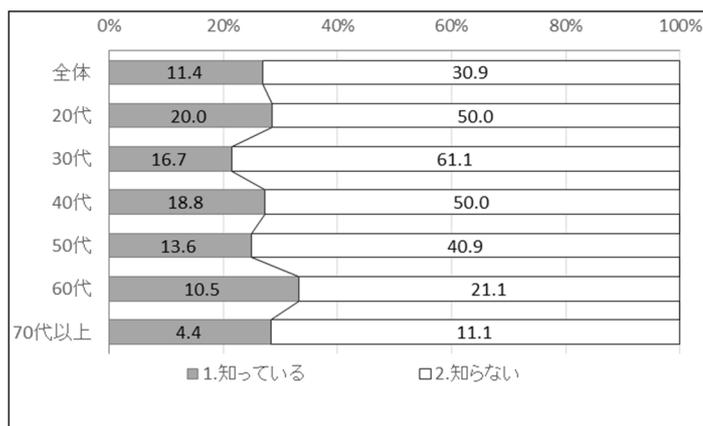
性別集計: Q29s2. 相談窓口の認識(パワハラ)

	度数	1.知っている	2.知らない	無回答
全体	151	11.3	31.1	57.6
男性	73	13.7	41.1	45.2
女性	78	9.0	21.8	69.2



年代別集計:Q29s2. 相談窓口の認識(パワハラ)

	1.知っている	2.知らない	無回答
全体	11.4	30.9	57.7
20代	20.0	50.0	30.0
30代	16.7	61.1	22.2
40代	18.8	50.0	31.3
50代	13.6	40.9	45.5
60代	10.5	21.1	68.4
70代以上	4.4	11.1	84.4



11 女性への暴力等をなくすために必要なこと (問 30) 選択肢は3つ以内

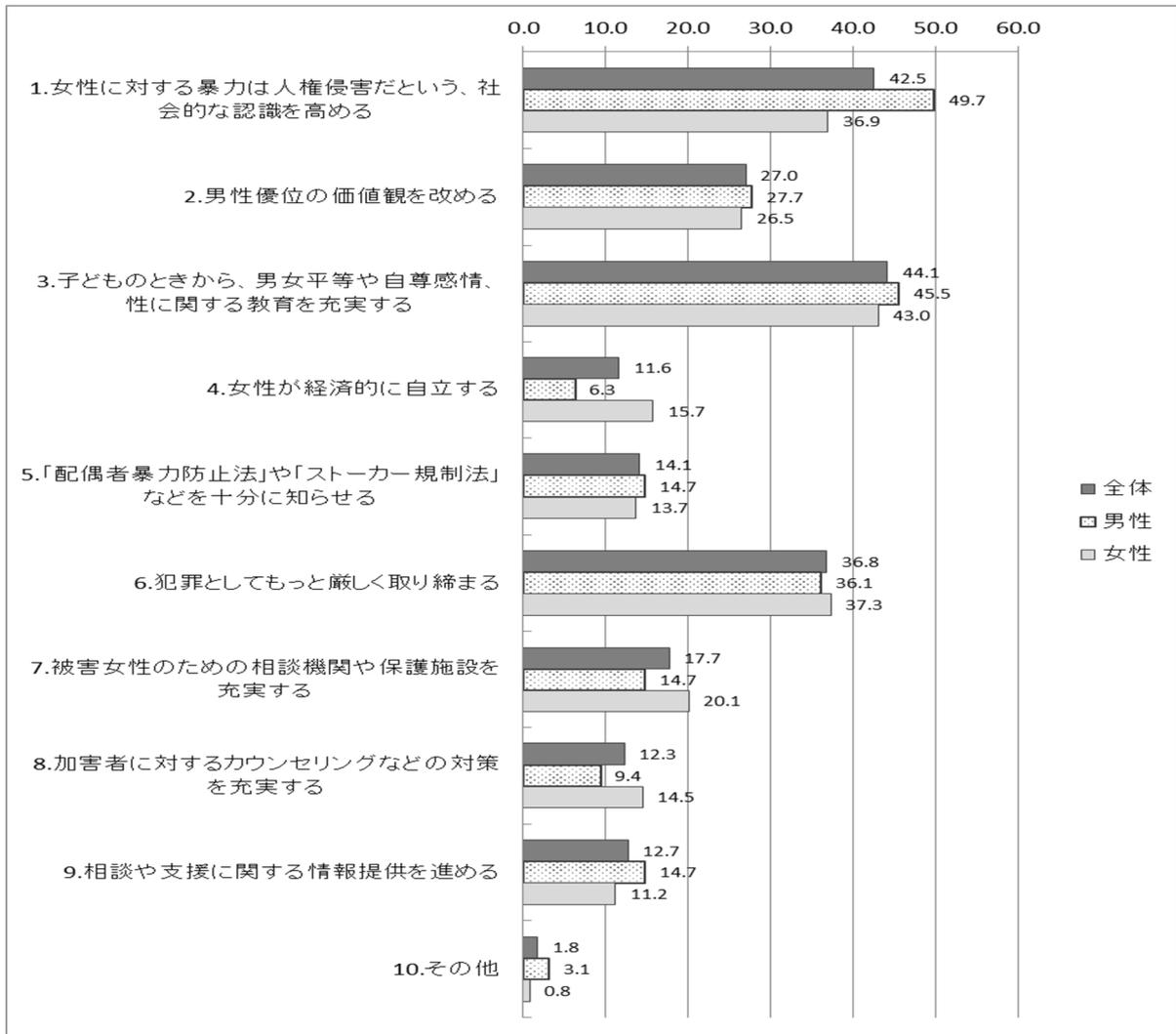
- ◆ 女性に対する暴力をなくすために必要なこととして挙げられていることは、全体的には、「子どものときから、男女平等や自尊感情、性に関する教育を充実する」44.1%、「女性に対する暴力は人権侵害だという、社会的な認識を高める」42.5%、「犯罪としてもっと厳しく取り締まる」36.8%と続く。
- ◆ 「女性に対する暴力は人権侵害だという、社会的な認識を高める」必要性について、女性 36.9%に対して、男性 49.7%と、男性のほうが必要性を感じている。また、「女性が経済的に自立する」必要があるという女性は 15.7%であり、男性の 6.3%よりも高い。
- ◆ 年代別にみると、「男性優位の価値観を改める」は 40代において 42.9%と高い。また「犯罪としてもっと厳しく取り締まる」は 57.5%と 20代が高く、「被害女性のための相談機関や保護施設を充実する」は 30代が 31.0%と高い。

Q30. 暴力を受ける女性をなくすための要因に関する各設問の性別集計

度数	1.女性に対する暴力は人権侵害だという、社会的な認識を高める	2.男性優位の価値観を改める	3.子どものときから、男女平等や自尊感情、性に関する教育を充実する	4.女性が経済的に自立する	5.「配偶者暴力防止法」や「ストーカー規制法」などを十分に知らせる	6.犯罪としてもっと厳しく取り締まる	7.被害女性のための相談機関や保護施設を充実する	8.加害者に対するカウンセリングなどの対策を充実する	9.相談や支援に関する情報提供を進める	10.その他	無回答	
全体	440	42.5	27.0	44.1	11.6	14.1	36.8	17.7	12.3	12.7	1.8	10.0
男性	191	49.7	27.7	45.5	6.3	14.7	36.1	14.7	9.4	14.7	3.1	7.9
女性	249	36.9	26.5	43.0	15.7	13.7	37.3	20.1	14.5	11.2	0.8	11.7

$\chi^2(1)$
=5.800,
 $p < .05^*$

$\chi^2(1)$
=10.371,
 $p < .01^{**}$



<その他の回答>

暴力を受ける女性にも問題があると思う	男性	40代
子どもだけでなく大人への教育も充実させる。	男性	40代
最近では女性優位な面が多いように思う。	女性	40代
経済優先社会での弊害としての現象なので解決方法はないと思う	男性	50代
自分が人間的に魅力的な人間になる	男性	60代
女性は弱いものと認識する	男性	70代以上

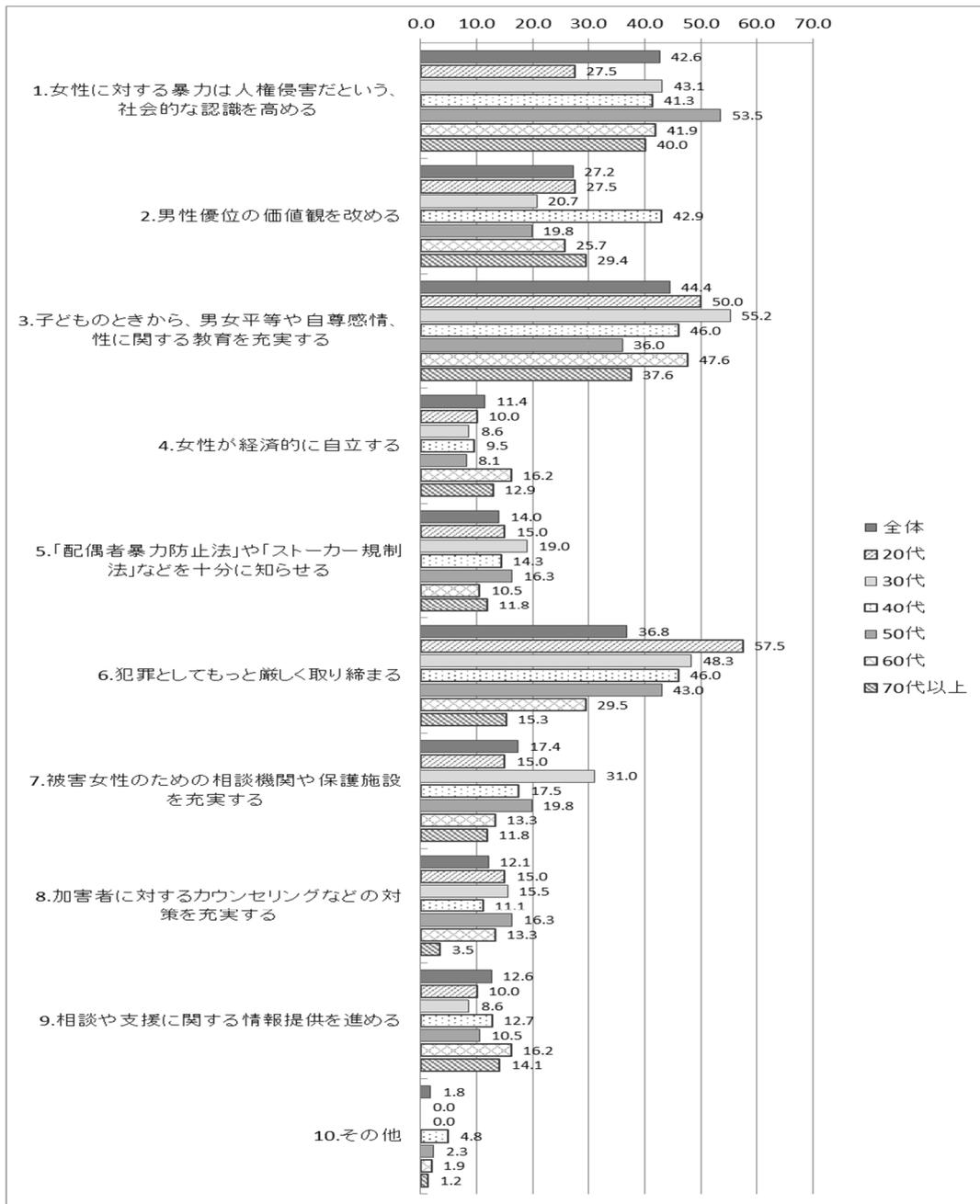
Q30. 暴力を受ける女性をなくすための要因に関する各設問の年代別集計

	1.女性に対する暴力は人権侵害だという、社会的な認識を高める	2.男性優位の価値観を改める	3.子どものときから、男女平等や自尊感情、性に関する教育を充実する	4.女性が経済的に自立する	5.「配偶者暴力防止法」や「ストーカー規制法」などを十分に知らせる	6.犯罪としてもっと厳しく取り締まる	7.被害女性のための相談機関や保護施設を充実する	8.加害者に対するカウンセリングなどの対策を充実する	9.相談や支援に関する情報提供を進める	10.その他	無回答	
全体	437	42.6	27.2	44.4	11.4	14.0	36.8	17.4	12.1	12.6	1.8	9.6
20代	40	27.5	27.5	50.0	10.0	15.0	57.5	15.0	15.0	10.0	0.0	0.0
30代	58	43.1	20.7	55.2	8.6	19.0	48.3	31.0	15.5	8.6	0.0	0.0
40代	63	41.3	42.9	46.0	9.5	14.3	46.0	17.5	11.1	12.7	4.8	0.0
50代	86	53.5	19.8	36.0	8.1	16.3	43.0	19.8	16.3	10.5	2.3	5.8
60代	105	41.9	25.7	47.6	16.2	10.5	29.5	13.3	13.3	16.2	1.9	11.4
70代以上	85	40.0	29.4	37.6	12.9	11.8	15.3	11.8	3.5	14.1	1.2	29.4

$\chi^2(5)$
=12.657,
 $p<.05^*$

$\chi^2(5)$
=14.498,
 $p<.05^*$

$\chi^2(5)$
=18.719,
 $p<.01^{**}$



VII 政策・方針決定過程への女性の参画について

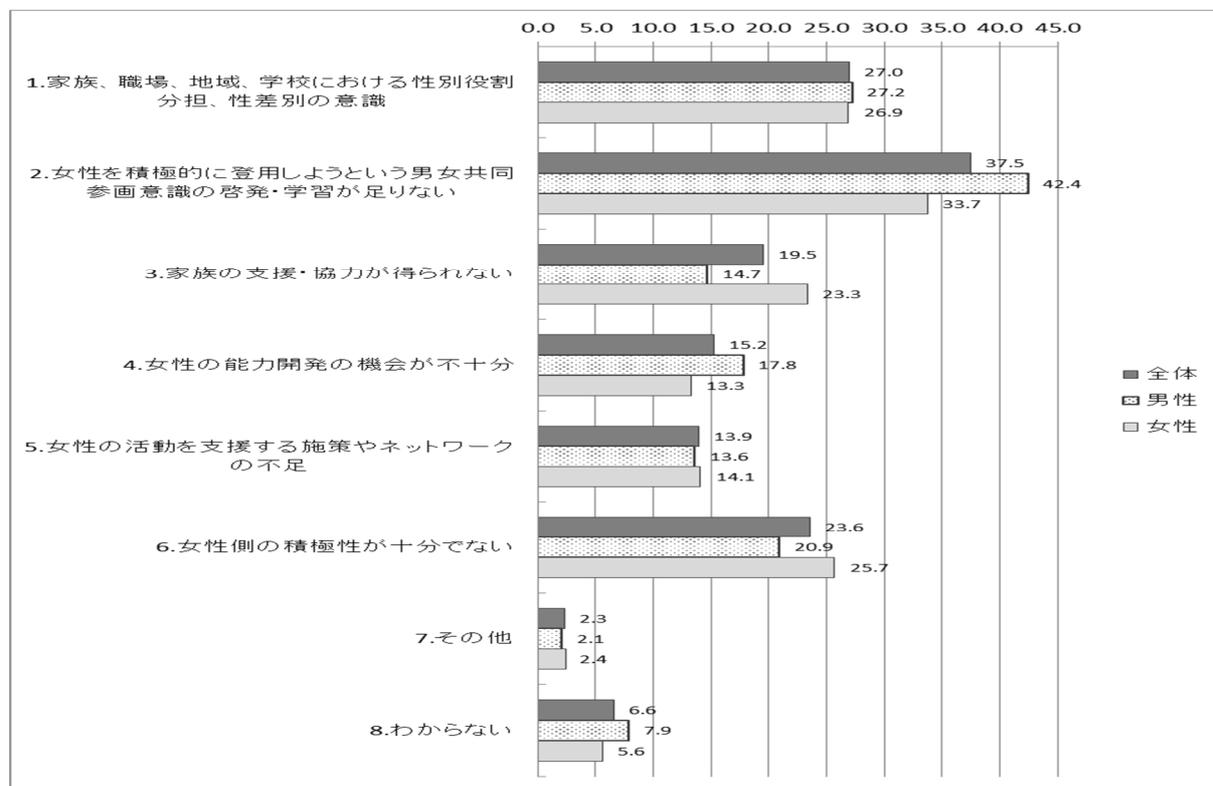
1 政策の企画や方針決定の過程で女性の参画が低い理由（問 31）2つ以内選択

- ◆ 政策の企画や方針決定の過程で女性の参画が低い理由として、「女性を積極的に登用しようという男女共同参画意識の啓発・学習が足りない」が男性42.4%、女性33.7%と高いが、男女差はある。次いで、「家族、職場、地域、学校における性別役割分担、性差別の意識」は、男性27.2%であり、女性26.9%である。
- ◆ 「家族の支援・協力が得られない」については、女性 23.3%にたいして、男性 14.7%と低く、男女差が見られる。
- ◆ 年代別では、「女性を積極的に登用しようという男女共同参画意識の啓発・学習が足りない」が20代で 55.0%と飛び抜けて高く、「女性側の積極性が十分でない」は年代があがるほど増える傾向がみられる。

Q31. 政策場面における女性参画が低い理由に関する各設問の性別集計

度数	1.家族、職場、地域、学校における性別役割分担、性差別の意識	2.女性を積極的に登用しようという男女共同参画意識の啓発・学習が足りない	3.家族の支援・協力が得られない	4.女性の能力開発の機会が不十分	5.女性の活動を支援する施策やネットワークの不足	6.女性側の積極性が十分でない	7.その他	8.わからない	無回答	
全体	440	27.0	37.5	19.5	15.2	13.9	23.6	2.3	6.6	12.3
男性	191	27.2	42.4	14.7	17.8	13.6	20.9	2.1	7.9	11.5
女性	249	26.9	33.7	23.3	13.3	14.1	25.7	2.4	5.6	12.9

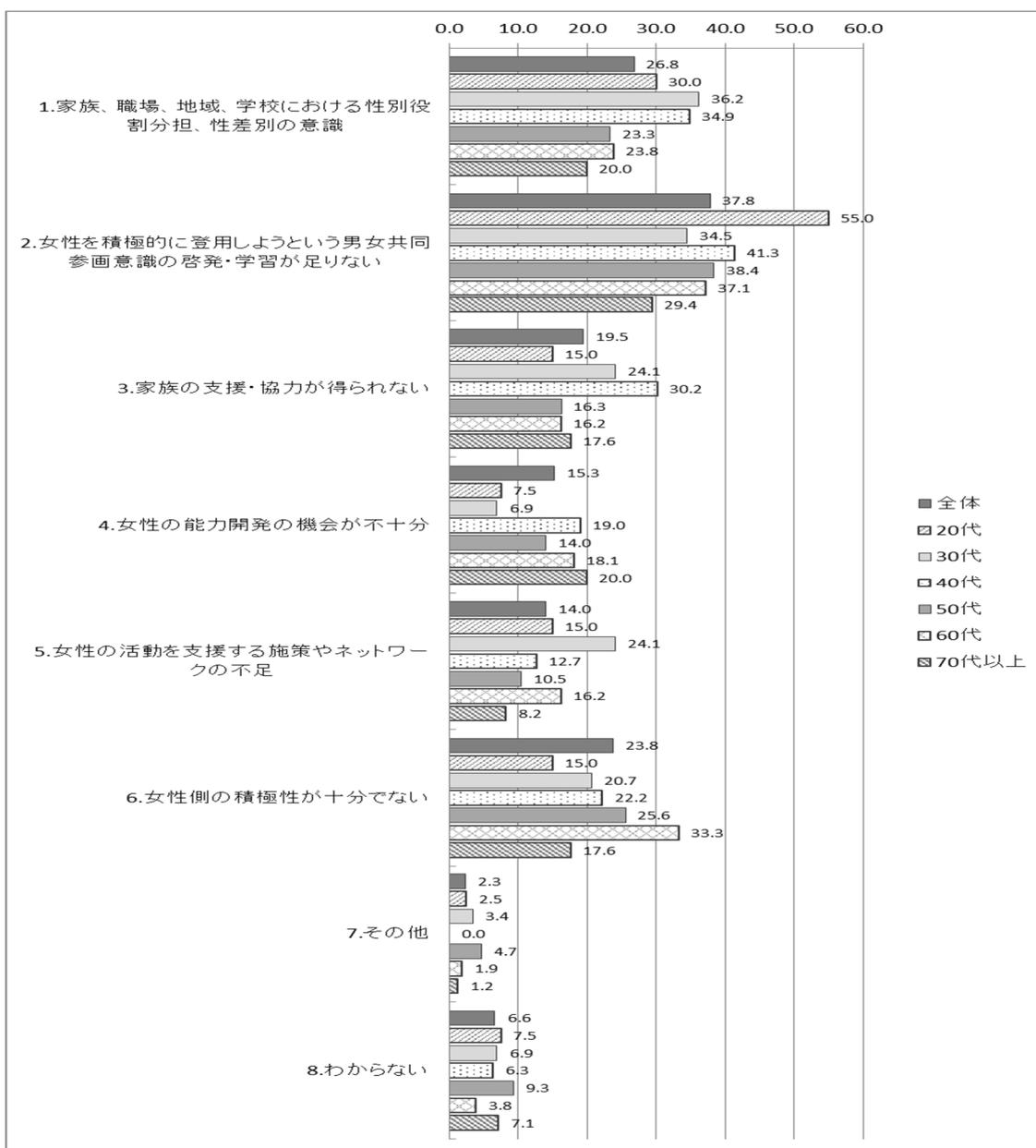
$$\begin{aligned}
 &X^2(1) & X^2(1) \\
 &=3.300, & =5.664, \\
 &p<.05^* & p<.05^*
 \end{aligned}$$



Q31. 政策場面における女性参画が低い理由に関する各設問の年代別集計

	度数	1.家族、職場、地域、学校における性別役割分担、性差別の意識	2.女性を積極的に登用しようという男女共同参画意識の啓発・学習が足りない	3.家族の支援・協力が得られない	4.女性の能力開発の機会が不十分	5.女性の活動を支援する施策やネットワークの不足	6.女性側の積極性が十分でない	7.その他	8.わからない	無回答
全体	437	26.8	37.8	19.5	15.3	14.0	23.8	2.3	6.6	11.9
20代	40	30.0	55.0	15.0	7.5	15.0	15.0	2.5	7.5	2.5
30代	58	36.2	34.5	24.1	6.9	24.1	20.7	3.4	6.9	3.5
40代	63	34.9	41.3	30.2	19.0	12.7	22.2	0.0	6.3	1.6
50代	86	23.3	38.4	16.3	14.0	10.5	25.6	4.7	9.3	9.3
60代	105	23.8	37.1	16.2	18.1	16.2	33.3	1.9	3.8	14.3
70代以上	85	20.0	29.4	17.6	20.0	8.2	17.6	1.2	7.1	29.4

$\chi^2(5)$
=12.893,
 $p < .05^*$



<その他の回答>

仕事に関する時間の束縛が長い	女性	30代
女性は参画しようと思っても、家庭・子育てなども完璧にこなさないと批判される率が高い。だから尻込みしてしまう。比較的そんな批判のない男性たちはそのことを理解して「だから女はダメだ」じゃなく、一緒に歩みよって解決策を考えてほしい。	女性	30代
長老達にその意識が無いから	男性	50代
女性参画を強要するから現れる問題。低い理由があるので必然事象と思う	男性	50代
組織の中での絶対数が少ないから	男性	50代
性別役割分担が大きいという現実の中で、参画できる状況には女性の割合が少ない	女性	50代
生理的に男女が同じようにというのは無理なのだから、可能なやる気のある女性がいれば否定せず、応援し登用すればよいと思う。	女性	50代
男性優位の日本社会の根底にある風土、文化？	女性	60代
認識不足かもしれない	男性	70代以上

VIII 地域(区)における男女共同参画について

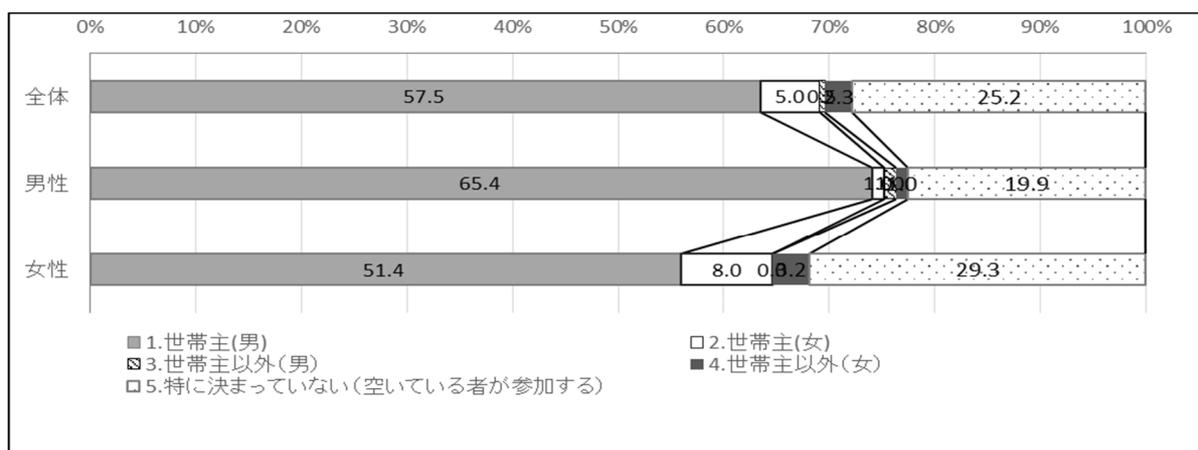
1 地区の会合に主に参加する人 (問 32)

- ◆ 地区の会合に主に参加する人は、全体では、「世帯主(男)」63.6%が最も高く、次いで、「特に決まっていない」が27.9%となっている。
- ◆ 「世帯主(男)」という回答は、男性74.0%、女性55.9%と男女差がある。「世帯主(女)」は、女性8.7%、男性1.2%と、男女差がある。
- ◆ 年代別では、「世帯主(女)」が70代以上で、10.8%と、他の年代よりも高い。

性別集計: Q32. 地域会合の参加者

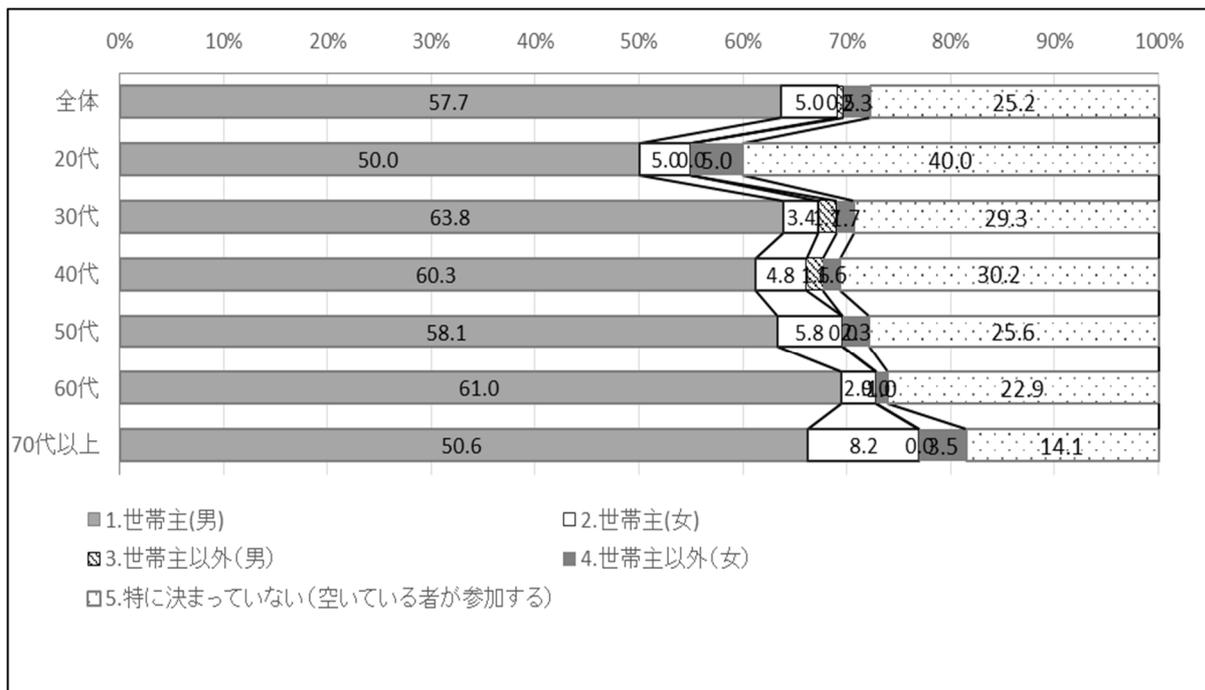
	度数	1.世帯主(男)	2.世帯主(女)	3.世帯主以外(男)	4.世帯主以外(女)	5.特に決まっていない(空いている者が参加する)	無回答
全体	440	57.5	5.0	0.5	2.3	25.2	9.6
男性	191	65.4	1.0	1.0	1.0	19.9	11.5
女性	249	51.4	8.0	0.0	3.2	29.3	8.0

$\chi^2(4)=22.873, p<.01^{**}$



年代別集計: Q32. 地域会合の参加者

	度数	1.世帯主 (男)	2.世帯主 (女)	3.世帯主以 外(男)	4.世帯主以 外(女)	5.特に決 まっていない (空いている 者が参加す る)	無回答
全体	437	57.7	5.0	0.5	2.3	25.2	9.4
20代	40	50.0	5.0	0.0	5.0	40.0	0.0
30代	58	63.8	3.4	1.7	1.7	29.3	0.0
40代	63	60.3	4.8	1.6	1.6	30.2	1.6
50代	86	58.1	5.8	0.0	2.3	25.6	8.1
60代	105	61.0	2.9	0.0	1.0	22.9	12.4
70代以上	85	50.6	8.2	0.0	3.5	14.1	23.5



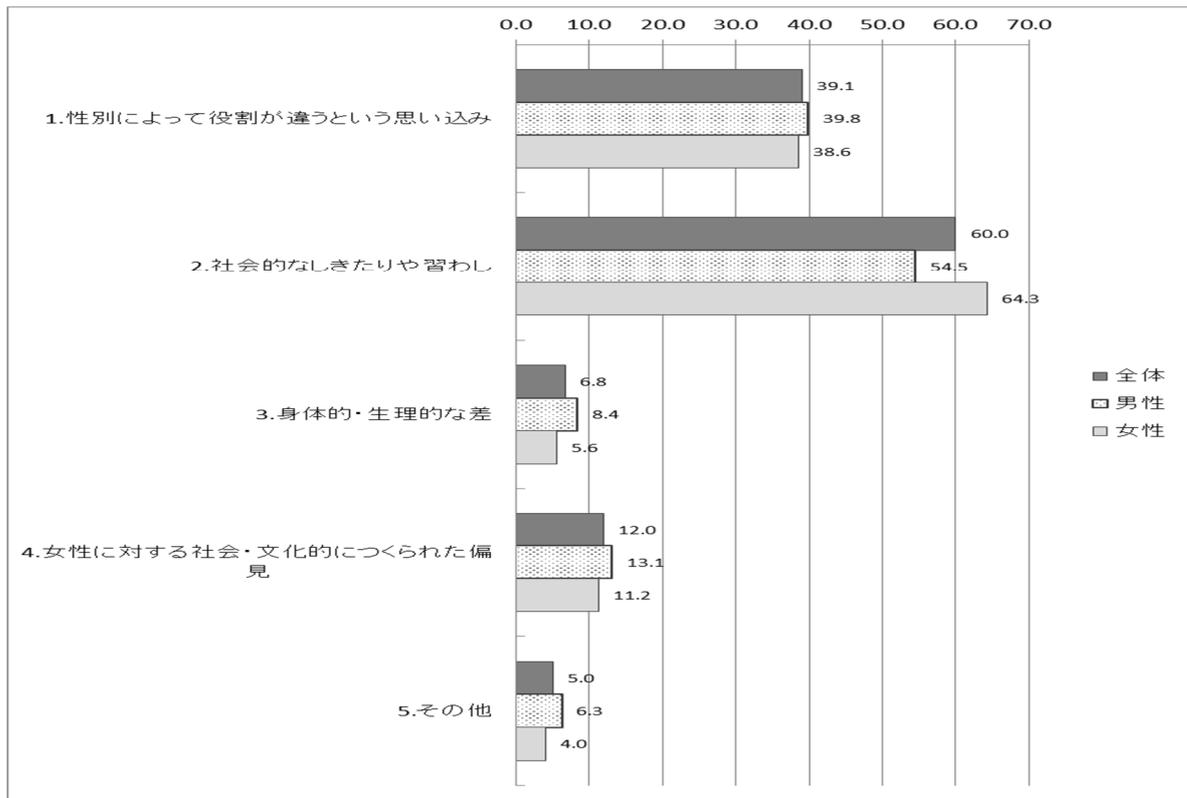
2 地域行事や会合に参加する男女の割合に差がある理由 (問 33)

- ◆ 地域行事や会合に参加する男女の割合に差がある理由として、「社会的なしきたりや習わし」が最も多く6割となっている。男性54.5%に対して、女性64.3%と男女差がある。次いで、「性別によって役割が違うという思い込み」が、男性39.8%、女性38.6%となっている。
- ◆ 「社会的なしきたりや習わし」を挙げた回答者は、20代70.0%、40代71.4%と7割を超えている。

Q33. 地域参画における男女差の原因に関する各設問の性別集計

	度数	1.性別によつて役割が違ふという思い込み	2.社会的なしきたりや習わし	3.身体的・生理的な差	4.女性に対する社会・文化的につくられた偏見	5.その他	無回答
全体	440	39.1	60.0	6.8	12.0	5.0	13.4
男性	191	39.8	54.5	8.4	13.1	6.3	13.1
女性	249	38.6	64.3	5.6	11.2	4.0	13.7

$$X^2(1) = 6.097, p < .01^{**}$$

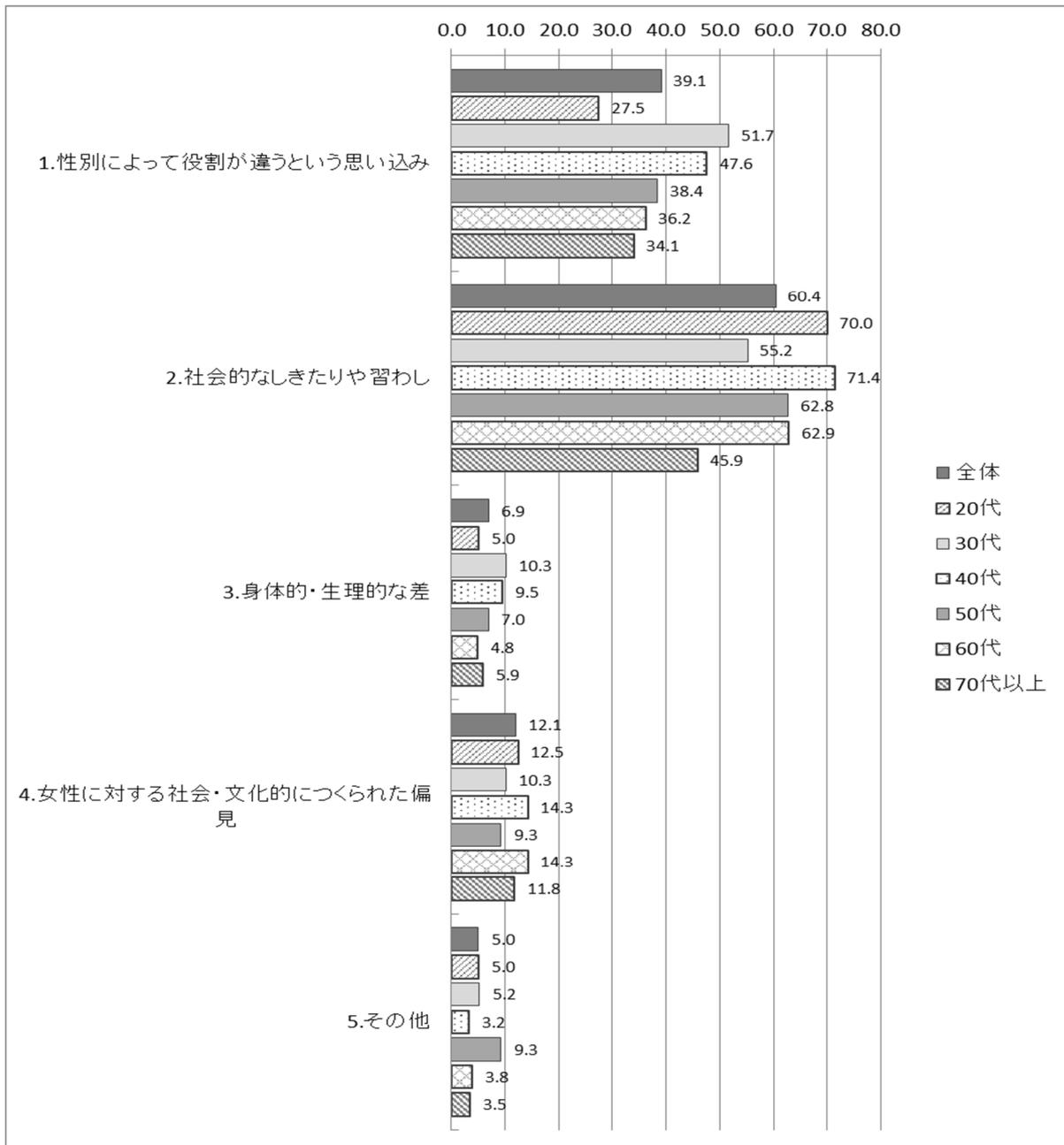


<その他の回答>

特に出席したいと思わないので格差があると思えない	女性	20代
会合に女性が行けば家事をその間に誰が出来るのか	女性	30代
仕事で時間がない	女性	30代
女性より男性の方が家から出やすい(家事なので)	女性	30代
格差はないと思う。	男性	40代
都合がつく方が出たらそうなるのでは	女性	40代
男女の割合を同じにする事自体に疑問あり	男性	50代
質問の格差データがなく回答困難	男性	50代
性差による体力的なこと	男性	50代
興味の差	男性	50代
性格	女性	50代
格差があると思いません	女性	50代
格差があると思わない	男性	60代
地域内に意識不足	男性	60代
みこしは女性は駄目だときいた	女性	70代以上

Q33. 地域参画における男女差の原因に関する各設問の年代別集計

	度数	1.性別によつて役割が違ふという思い込み	2.社会的なしきたりや習わし	3.身体的・生理的な差	4.女性に対する社会・文化的につくられた偏見	5.その他	無回答
全体	437	39.1	60.4	6.9	12.1	5.0	13.0
20代	40	27.5	70.0	5.0	12.5	5.0	2.5
30代	58	51.7	55.2	10.3	10.3	5.2	3.5
40代	63	47.6	71.4	9.5	14.3	3.2	0.0
50代	86	38.4	62.8	7.0	9.3	9.3	10.5
60代	105	36.2	62.9	4.8	14.3	3.8	15.2
70代以上	85	34.1	45.9	5.9	11.8	3.5	34.1



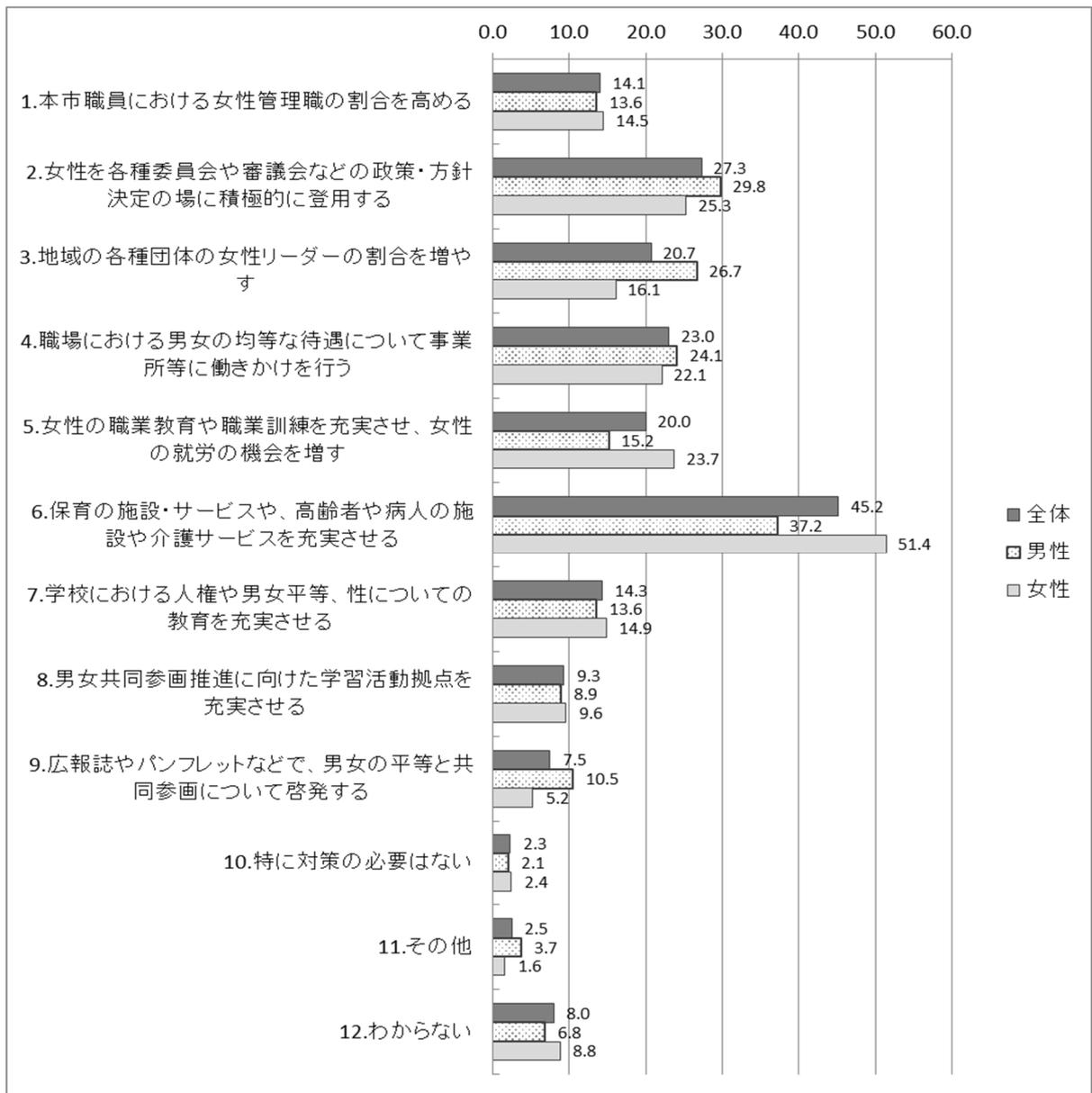
IX 男女共同参画社会の実現について

1 男女共同参画社会実現のために豊岡市が力を入れていくべきこと（問 34）3 つ以内

- ◆ 男女共同参画社会実現のために豊岡市が力を入れていくべきこととして、「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実させる」が 45.2%と最も多く、男性 37.2%に対して、女性は 51.4%を占める。次いで、「女性を各種委員会や審議会などの政策・方針決定の場に積極的に登用する」が 27.3%、「職場における男女の均等な待遇について事業所等に働きかけを行う」が 23.0%と続く。
- ◆ 「地域の各種団体の女性リーダーの割合を増やす」は男性 26.7%、女性 16.1%であり男女差がみられる。同様に「広報誌やパンフレットなどで、男女の平等と共同参画について啓発する」も男性 10.5%、女性 5.2%であり、有意に男性の回答が高い。一方で「女性の職業教育や職業訓練を充実させ、女性の就労の機会を増す」は男性 15.2%、女性 23.7%と、女性の回答が高い。
- ◆ 年代別にみると、「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実させる」において、30代は55.2%、50代は54.7%と高い。「本市職員における女性管理職の割合を高める」と「地域の各種団体の女性リーダーの割合を増やす」は40代で高く、「職場における男女の均等な待遇について事業所等に働きかけを行う」は、30代で高く、そして、「女性を各種委員会や審議会などの政策・方針決定の場に積極的に登用する」は、60代で高い。

Q34. 男女共同参画のために豊岡市に必要なことに関する各設問の性別集計

	1.本市職員 における女 性管理職の 割合を高め る	2.女性を各 種委員会や 審議会など の政策・方 針決定の場 に積極的に 登用する	3.地域の各 種団体の女 性リーダー の割合を増 やす	4.職場にお ける男女の 均等な待遇 について事 業所等に働 きかけを行 う	5.女性の職 業教育や職 業訓練を充 実させ、女 性の就労の 機会を増す	6.保育の施 設・サービ スや、高齢 者や病人の 施設や介護 サービスを 充実させる	7.学校にお ける人権や 男女平等、 性について の教育を充 実させる	8.男女共同 参画推進に 向けた学習 活動拠点を 充実させる	9.広報誌や パンフレッ トなどで、 男女の平等 と共同参画 について啓 発する	10. 障 の必要はな い	11.その他	12.わから ない	無回答	
全体	440	14.1	27.3	20.7	23.0	20.0	45.2	14.3	9.3	7.5	2.3	2.5	8.0	9.8
男性	191	13.6	29.8	26.7	24.1	15.2	37.2	13.6	8.9	10.5	2.1	3.7	6.8	10.0
女性	249	14.5	25.3	16.1	22.1	23.7	51.4	14.9	9.6	5.2	2.4	1.6	8.8	9.6
			$\chi^2(1)$ =7.778, $p<.01^{**}$		$\chi^2(1)$ =4.952, $p<.05^*$	$\chi^2(1)$ =9.501, $p<.01^{**}$			$\chi^2(1)$ =4.377, $p<.05^*$					



<その他の回答>

職場で育休を3年間(2年間でも)とれたなら、その後復職した後に子供の体調不良による早退の数も減ると思う。そうなるよう是非市役所が先陣を切ってもらいたい。	女性	20代
平等ではなく、女性の方が優れていて、向いている仕事もあると認めること。全て平等のしようと思うから大変なのだと思う。	男性	30代
こうのとりのばかりに税金を使わないこと。無駄！！他の事業に回すべき	女性	30代
性の違いからくるものと、性を超えて個人の考えからくるものと世間一般の固定概念からくるものとの間で、バランスを崩した時に問題起こる。予防策としては、家庭、社会、企業に多数選択肢を可能な限り準備をしてもらうこと。相互理解と歩み寄りの機会をつくってもらえるよう市は発信、啓発していくべき。	女性	30代
男女差はあって当たり前。平等は無理。	男性	40代
男女共同参画を理由に必要以上の予算を取らないでほしい。(行政上の都合にこの問題を利用しないで欲しい)	男性	50代
職場、組織など男女同数に	男性	50代
男女共同参画社会実現にこだわらず、臨時職員ばかり採用せず正職員を増やすこと。待遇、賃金格差がありすぎるのではないか。	女性	50代
男女共同参画社会を知りませんでした	男性	70代以上
日本国内をモデルにするのではなく欧米を参考にしたら如何でしょうか？	男性	年齢不明

Q34. 男女共同参画のために豊岡市で必要なことに関する各設問の年代別集計

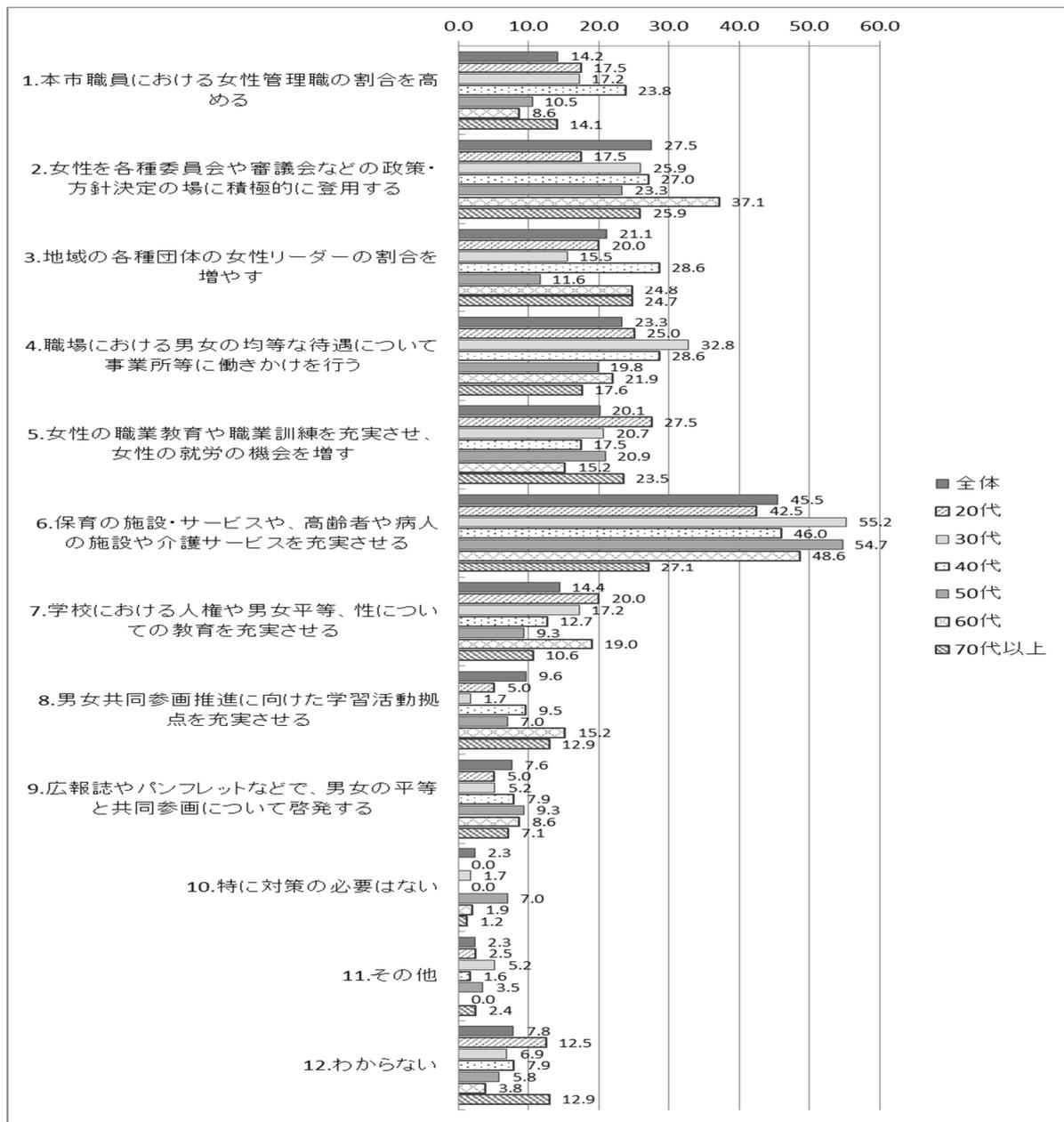
	1.本市職員における女性管理職の割合を高める	2.女性を各種委員会や審議会などの政策・方針決定の場に積極的に登用する	3.地域の各種団体の女性リーダーの割合を増やす	4.職場における男女の均等な待遇について事業所等に働きかけを行う	5.女性の職業教育や職業訓練を充実させ、女性の就労の機会を増す	6.保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実させる	7.学校における人権や男女平等、性についての教育を充実させる	8.男女共同参画推進に向けた学習活動拠点を充実させる	9.広報誌やパンフレットなどで、男女の平等と共同参画について啓発する	10.特に対策の必要はない	11.その他	12.わからない	無回答	
全体	437	14.2	27.5	21.1	23.3	20.1	45.5	14.4	9.6	7.6	2.3	2.3	7.8	9.4
20代	40	17.5	17.5	20.0	25.0	27.5	42.5	20.0	5.0	5.0	0.0	2.5	12.5	0.0
30代	58	17.2	25.9	15.5	32.8	20.7	55.2	17.2	1.7	5.2	1.7	5.2	6.9	3.5
40代	63	23.8	27.0	28.6	28.6	17.5	46.0	12.7	9.5	7.9	0.0	1.6	7.9	1.6
50代	86	10.5	23.3	11.6	19.8	20.9	54.7	9.3	7.0	9.3	7.0	3.5	5.8	8.1
60代	105	8.6	37.1	24.8	21.9	15.2	48.6	19.0	15.2	8.6	1.9	0.0	3.8	11.4
70代以上	85	14.1	25.9	24.7	17.6	23.5	27.1	10.6	12.9	7.1	1.2	2.4	12.9	22.4

$\chi^2(5)$
 =11.859,
 $p<.05^*$

$\chi^2(5)$
 =12.071,
 $p<.05^*$

$\chi^2(5)$
 =13.560,
 $p<.05^*$

$\chi^2(5)$
 =11.342,
 $p<.05^*$



X まとめ

2015年度に実施された、豊岡市男女共同参画に関する市民意識調査のデータについて、少し詳細に検討を行った。

分析をとおして、いくつか、新たな知見や課題が浮かび上がってきた。それらを列挙して、今後の施策に、少しでも活かしていただけると幸いである。

- 1) 改めて、「男女共同参画社会の実現」という場合、実際に、どのような社会像、どのような社会関係、どのような個々人の生き方の実現を目標とするのか、シミュレーションが必要である。男女共同参画社会の実現が、社会全体にとってのみならず、男女関係にどのような利点をもたらすのか、個々人の生き方の選択に何をもたらすのかといった具体的な方向を提示できれば、教育や啓発の説得力が高まるのではないかと。
- 2) 上記とも関連して、現代社会における「男らしさ」、「女らしさ」の中味について、具体的に、さまざまな人びとを巻き込んで意見交換できることを期待したい。
- 3) 男女共同参画社会が目指す男と女の関係として、「男も女も、仕事も家事も子育ても」という役割分担の側面が強調されているが、プライベートな男女間、職場における男女間、学校現場における男女間、社会全体における男女間の力関係や意思決定への対等性について、設問が弱かったことが見えてきた。と、同時に、女性たちがホンネで、男性と対等な関係を望んでいるのかどうか、もし、必ずしも望んでいないとしたら、なぜなのか、男女共同参画を推進するうえで、避けてとおれない課題と言えるだろう。
- 4) 今回の分析において、DVの体験、とりわけ、無視され続けることによる自己受容感や自己肯定感の低下への影響が示唆されるとの結果が出たこと、しかも、DVは、身体的、心理的、性的、経済的など、別々ではなく、複合的にDVが行使されている状況も浮かび上がってきたことの意義は大きいと言えるだろう。DV対策に活かさせていただきたい。
- 5) 今回の分析は、詳細な検討の一部にすぎない。行政施策を進めるうえで、なぜなのか？ どうしてなのか？といった、疑問に、今回のデータをさらに活用することで、何らかの答えや手がかりが得られるに違いない。さらに、活かしていくことが期待される。
- 6) 従来の男女共同参画に関する調査では、ほとんど、触れられてこなかった点として、今回、就労実態からみる経済状況に焦点をあてて集計した。集計の結果、夫も妻もフルタイムで就労という働き方は、女性全体の26.7%にすぎないこと、他方、「男は仕事、女は家事・育児」の働き方も女性の16.7%にすぎないことが明らかになった。男女の役割分担のあり方について、「男は仕事、女は家事・育児」の是非を問うような粗い議論ではなく、「平等」という視点から丁寧に検討することが問われる。

今回の分析によって、個々の結婚歴、働き方、家族構成の違いを組み合わせることにより、経済的に困難な人びとを、浮かび上がらせることができた。貧困の問題や介護の問題は、女性の問題とは言い切れない現状にたいして、どのような施策を講じるのかが問われる。